

会 報

2018～2019 R I 第2720地区



人吉ロータリークラブ

The Hitoyoshi Rotary



通 算 2 9 8 9 回
2018年7月20日
第 3 回 例 会

インスピレーションになろう

2018-2019年度 R I 会長
バリー・ラシン

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場 事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505



人吉ロータリークラブ
ホームページ



f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2018～2019年度 人吉ロータリークラブテーマ 「人生二度なし ～良き出会いを～」

本日の進行

- P1～2 会長の時間
幹事報告、出席率報告、地区委員委嘱状伝達
PHF表彰状・認証ビラの贈呈
- P3 地区セミナー報告、ニコニコ箱・寄付カード
- P3～6 第1回クラブ協議会 後半

点 鐘
歌 唱

有馬宏昭 会長
ソングリーダー 加登住 亮SAA委員長



国 歌 「君が代」
四つのテスト唱和
R S 「奉仕の理想」

司 会 ・ 進 行

青木一幸 プログラム委員長

会長の時間

会長 有馬宏昭



第3回目の会長の時間です。
皆様こんにちは。

去る7月15日（日曜日）午前9時から、人吉高校視聴覚室におきまして、平成29年度『一井 正典「青雲の志」育成事業』に参加した6名の生徒さんの報告会に

鳥井パスト会長ご夫婦と一緒に参加しました。多くの感動と勇気をいただいた報告会でしたので本日の会長の時間で報告いたします。

この事業は、人吉市出身で近代歯科医学の先駆者であります、一井(いちのい)正典(まさつね)氏の足跡をたどり、その生き方を学ぶことで、子供たちに国際的な視野を広げてもらうことを目的に、人吉市が主催。今回が3回目の事業です。一井正典先生の業績につきましては、渋谷敦先生、松本晋一先生の現地調査による著書等にて皆さんご案内のことと存じます。今回の派遣内容につきましては、平成30年3月24日から3月30日までの5泊7日の日程で、一井正典氏ゆかりの地ロスガトス市訪問と、スタンフォード大学、サンノゼ州立大学や地元高校、インテル社やアップル社等シリコンバレー企業視察、現地起業家とのディスカッション、シリコンバレー研修中の横浜、聖光学園の生徒さんとの交流と充実した内容でした。

生き馬の目を抜くような競争社会の中で、頑張っておられる郷土出身者から、生き方や働き方、失敗を恐れずチャレンジすることを学んだこと。参加した授業やセッションでは自分の意見を述べ相手に伝えること等が大切であること、自分の考えを躊躇なく発表する双方向の授業スタイルが一番印象的だったとの参加者の声が多くありました。

前回3年前の育成事業に参加した縁で、大学に進学した後も交流が続いている人吉高校OB大学生の溝口然君と、横浜、聖光学園の浜村さんも今では同じ大学進んだことで縁が深まり今回の報告会に参加、3月にシリコンバレー研修に参加した聖光学園の生徒さんも遠路、横浜から参加していただきました。

人吉高校のOBで活躍中の外村さんの企画で、現地で人吉高校と聖光学園の生徒さんで「人吉の活性化について」グループディスカッションを実施、20分という限られた時間で、人吉の課題解決と、将来の展望まで論議。聖光学園の生

徒の発表で人吉の良さを再認識しました。記憶に残る発表を紹介しますと

①人の温もりを感じた・・・立山商店でのBQ,
本田節パスト会長のリュウキンカの里

②音・・・川のせせらぎ、風の音、虫の音
都会では味わえない情緒体験

言葉にできない、パンフレットでは表現できない、体験しないと味わえない良さ

期末試験で傷ついた心にしみましたとの発表。空き家を利用した、週末は観光客向け、平日はデイサービスの施設に活用できないかなど感銘を受ける報告会でした。

人吉で聖光学園と人吉高校の生徒での小グループで人吉の活性化についての発表を聞いた私たちも多く示唆をいただき、外村さんと家族の皆さんもサプライズでアメリカから参加いただきました。参加したすべての生徒さんが将来の進路が今回の訪問で大きく変化しております。たとえ1週間の海外体験ではありましたが、多くの方々の支えで実行できた今回の研修は、インスピレーションあふれる方々との出会いにより好転したと思います。

「出会いにより」人は変わることを参加なさった生徒さんから学びました。大人の私たちとしては、時期を誤らずその環境を作ることが大切だと実感し、人吉ロータリクラブならではの奉仕活動になるのではと思った次第です。

最後になりましたが、聖光学園の生徒さんのおもてなしには、本田節パスト会長のリュウキンカの郷でのおもてなし、立山茂元会員と奥様の立山まき子さんによるBQの接待などのサポートがありました事申し添えます。改めて、ロータリアンの奉仕の実践に敬意と感謝を申し上げます。青少年奉仕活動や国際奉仕活動の在り方を学ぶことが出来、有意義な報告会でした。

幹事報告

幹事 新堀純子



①回覧物

・ハイライトよねやまの月間ニュース

②掲示物

- ・ロータリー囲碁同好会より第17回ロータリー全国囲碁大会の案内
- ・姉妹クラブ台北稻江RC、水俣RC、多良木RCより今年度の役員理事のお知らせ
- ・例会取止めの案内（8クラブ）→八代南、熊本東、熊本城東、熊本グリーン、熊本東南、熊本中央、熊本西

③各委員長への連絡

・9月2日(日) くまもと県民交流会館パレアにて、広報・青少年奉仕部門の合同セミナー開

催。対象者は、会長・幹事・会長エレクト・公共イメージ委員長・他希望の委員会

④連絡事項

- ・高山ガバナーより7月の豪雨災害の支援募金のお願い（会員1人につき2000円）
→理事会にはまり決定内容を後日連絡
- ・先日回覧した人吉RCのグループLINEは、返事を頂いた方から順次事務局の緒方さんより招待のLINEが入りますので、拒否ではなく参加をお願いします。登録頂いた方よりロータリーの連絡はFAXからLINEへ移行します。

出席率報告

副委員長 板井英朗

会 員 数	64名	本日の出席率	
出 席 免 除	2名	84.13%	
欠 席 者 数	10名	7 / 6 例 会	74.60%
出 席 者 数	52名	補 填 数	3名
免除会員出席者数	1名	修 正 出 席 率	80.95%

*届け出欠席 馬氷・大久保・山田・板崎・竹長・山本・尾上
後藤・伊久美・内藤

*出席免除会員 (b) 愛甲、有村

*メイクアップ

7/9社会奉仕委員会家庭集會；延岡

6/26ココ箱委員会家庭集會；戸高

7/12人吉RAC家庭集會；板崎

【地区代表 委嘱状伝達】

2018-2019年度2720地区 出向者委嘱状伝達



RLI日本支部 第2720地区代表
ファシリテーター
中川 貴夫会員

R財団寄付 表彰状・認証ピン贈呈

ポール・ハリス・フェロー

石蔵 尚之 会員



【セミナー報告】

管理運営セミナー報告

クラブ管理運営委員会
委員長 水野虎彦



平成30年7月14日(土)ホルトホール大分に於いて開催されました。開会13時、部門長挨拶、来賓参加者紹介、研修リーダー前田眞実氏挨拶

前田眞実研修リーダー挨拶では、300名超の参加者に「ちょっとしたミニ研修協議会」との言葉がありました。講演は、(有)ファニーフェイス代表取締役山村美穂子氏、演題「ひとりの活性化はクラブの活性化、コミュニケーション力の高め方」流れるような話し方で聞き手側に抵抗なく入ってくる素晴らしい講演でした。

「表情」「声」「ことば」「きげん」について具体的なレクチャー

表情と声と感情は連動する。

怒りのコントロール、

などをお話しされました。

戦略計画について、地区研修リーダー前田眞実氏のお話の後、事例発表 玉名RC(韓国姉妹提携クラブとの扱いについて見直し)結果どうなったのかまでは話されませんでしたので気になりました。

グループディスカッション(22グループ)

では

テーマ1. 各クラブ・委員会の活動目標について

テーマ2. クラブ例会の柔軟性への対応状況とその効果や影響について

テーマ3. クラブ内のコミュニケーション力の高め方

テーマ4. クラブの活性化など

各クラブの問題点の意見交換が行われ、なかなかテーマ1～4までのディスカッションリーダーの意図するテーマの議論からしばしば逸脱してしまいましたが、それでも有意義な会合だという印象を受けました。

ニコニコに領収証を発行するようにしたというクラブがあり、10クラブ中領収証を発行しているクラブは他に我がクラブのみ。元来ニコニコの予算(特別会費)は奉仕活動に用途されるべきで基本寄付金であり、領収証は発行される性質のものではないというのがロータリーの価値観だと思いましたが、出来るだけニコニコの額を増やしたいという工夫で今後領収証を発行するクラブは増えることと思います。その他、各部門の代表からの発表 人吉ロータリークラブより有馬宏昭会長が発表されました。講評を小山康直PGを述べられ 閉会となりました。

職業奉仕セミナー報告

職業奉仕委員会

委員長 石蔵尚之



管理運営の皆さんと離れ、別室にて職業奉仕セミナーが開かれました。倉田榮喜部門長のガイダンスの後、10班に分かれてグループディスカッション。我が班のディスカッションリーダーは皆さんご存知の芦北RC川尻成美様でした。

「職業奉仕の理念とは」「職業奉仕はロータリーの金看板か」「職業奉仕と職業奉仕活動の違い」などについて意見を出し合いましたが、会場の雰囲気としては「職業奉仕は哲学的で難しい」との反応が多かったように思います。中には、事例を紹介して「職業奉仕か否かを判別できればわかりやすい」との意見もありましたし、その反面、「簡単にすると長年研究し積み上げてきた理念を見失うことになりロータリーが単なる親睦団体になりかねない」との指摘もあり、考えさせられるセミナーとなりました。

【寄付カード】 ニコニコ箱委員会 山賀勝彦
(ニコニコ箱委員会)

・山賀会員 先週、ビジター寄付を私の勘違いにより発表しなかったので「ごめんねカード」をします。

(米山記念奨学委員会)

・浦田会員 今年度、米山記念奨学委員会委員長を務めることになりました。米山への御協力御支援宜しくお祈いします。

点 鐘 有馬宏昭 会長



第1回クラブ協議会 後半

【奉仕プロジェクト委員会】

委員長) 有馬宏昭 副) 新堀純子

委員) 浦田繁喜 和田栄司 延岡研一 鳥井正徳
石蔵尚之 永尾禎規 淵田秀雄 増田隆二

1. 方針

当委員会は、常設委員会であり、職業奉仕・社会奉仕・環境保全・地域発展・青少年奉仕・ローターアクト・国際奉仕・米山記念奨学の9委員会構成されている。人吉ロータリークラ

ブにおける奉仕プロジェクトの円滑な運用と公共イメージの向上に努めてまいります。

2. 計画

- ①各委員会の事業活動への協力
- ②チャレンジカップへの地区補助金の管理運用
- ③各委員会間での情報共有や協力体制の構築
- ④よりよい地域を作るための、人吉ロータリークラブならではの奉仕事業を見出し理事会に提案する。
- ⑤各委員会の奉仕活動を地域社会に発信し、公共イメージの向上を図る。
- ⑥継続事業を5年をめぐりに見直し、周知徹底できた事業を発展的解消や他団体への移行できないか模索する。必要に応じて、理事会に提案していく。

【職業奉仕委員会】

委員長) 石蔵尚之 副) 内藤靖雄
委員) 青木一幸 宮崎智弘 塚本哲也 堤 正博
山本知枝

1. 方針

高山ガバナーからの年度課題「職業奉仕の研修と実践、特に新会員に職業奉仕の意義を伝える」を受け、職業奉仕を深め実践するための活動を展開していきます。事業及び専門職務の道徳的水準を高めるため地区研修会などへ積極的に参加し、職業奉仕の理解を深め、クラブ内においては奉仕プロジェクト各委員会と連携して奉仕の実践の機会を広げていくことに努めます。

2. 計画

- ① 職業奉仕月間外部卓話 2月1日(金)
- ② 職場訪問例会の実施 4月19日(金)
- ③ 優良職員表彰の実施 5月10日(金)

3. 予算 (150,000)

優良職員表彰記念品代120,000

職場訪問10,000

外部卓話10,000

委員会費5,000

資料代5,000

【社会奉仕委員会】

委員長) 延岡研一 副) 村田武澄
委員) 丸尾 孜 本田 節 加登住亮 後藤竜一
寶代誠志

1. 方針

4回目を迎える「人吉RC チャレンジカップ陸上競技大会」を開催することを通して、人吉ロータリークラブの会員すべてが「奉仕の理想」を認識する契機とする。そして、会員それぞれの個人生活や事業生活において「奉仕の理想」を実現できるよう導く。併せて、人吉ロータリークラブの公共イメージをさらに良くし、地域における認知度向上に努める。

2. 計画

- ①「人吉RCチャレンジカップ陸上競技大会」を開催 10月13日(土)
- ②他団体との協力、事業連携(委嘱された公的会議等への参加)
- ③公共イメージ委員会と連携して、活動をマスメディア等各種媒体に取り上げてもらう

3. 予算

委員会費10,000

陸上競技大会

R財団地区補助金266,760円+特別会計300,000円

人吉市暴力追放協議会年会費 特別会計

人吉球磨総合美展ロータリー賞 //

犯罪被害者支援センター賛助会費 //

【環境保全委員会】

委員長) 増田隆二 副) 堀川匠太
委員) 山口令二 大久保勝人 小林祐介 戸高克彦
平田フク 山田仁法

1. 方針

全員が環境問題に関心を持ち、地域と地球の環境保全に行動を

2. 計画

- ①地域行事のクリーン作戦に参加
8月16日(木)、5月6日(月)
- ②環境保全例会での卓話
3月8日(金)又は3月15日(金)
- ③早朝例会 歴史の広場の清掃
9月28日(金)
- ④公共イメージアップを図る目的で活動時には人吉RCの幟を掲げる

3. 予算

委員会費10,000

【地域発展委員会】

委員長) 湊田秀雄 副) 有村隆徳
委員) 愛甲 康 北昌二郎 板井英朗 岩井和彦
中村太郎

1. 方針

奉仕の理念を念頭に、人吉・球磨地域において、地域発展に尽力されている方及び地域振興のためのイベント等を積極的に支援・協力していきます。

2. 計画

- ①地域発展功労者表彰 10月26日(金)
- ②人吉・球磨地域各種イベント支援・協力
- ③外部卓話

3. 予算 (110,000)

委員会費10,000

地域功労者表彰、卓話、イベント経費95,000

予備費5,000

【青少年奉仕委員会】

委員長) 鳥井正徳 副) 葉山稔洋
委員) 竹長一幸 岡啓嗣郎 漆野智康

1. 方針

様々な経験は青少年の体と心の豊かな育ちを促し、健全な成長を後押しする。青少年の健全な育成のために、関係団体と連携を図り、会議や活動に参加する。また、ローターアクト委員会と協力し青少年育成活動に支援する。

2. 計画

①青少年支援事業への協力

②青少年スポーツ大会援助

人吉球磨中学生柔道大会 等

③青少年奉仕月間 (5月) 卓話

④人吉市青少年育成市民会議への参加
(担当制)

⑤音楽を通した“心の豊かさ”プロジェクト

⑥高校生の進路選択への支援事業

3. 予算(100,000)

委員会費5,000

青少年スポーツ大会 (中学生柔道大会) 30,000

青少年月間卓話5,000

音楽を通した心の豊かさプロジェクト50,000

進路選択への支援事業10,000

【ローターアクト委員会】

委員長) 永尾禎規 副) 板崎幸範
委員) 武末憲一 水野虎彦 原田知一郎
尾上暢浩 村山能史

1. 方針

新会員へ最低1回以上のアクト例会への参加をお願いします。ローターアクト委員は2回以上のアクト例会出席と、アクト活動への協力を常にお願います。青少年奉仕委員会と協力し連携して参ります。

2. 計画

①ローターアクト会員の増強

(5名以上を目標)

②ロータリアンとアクト会員の連携を密に行う

③アクト例会参加によるメイクアップの奨励

④アクト例会内容を随時お知らせし、積極的な参加をお願いします。

3. 予算

委員会費 25,000

【国際奉仕委員会】

委員長) 和田栄司 副) 渡辺洋文
委員) 川越公弘 友永和宏 安達玄一
宮原和広 井手富浩

1. 方針

地区の国際奉仕の方向は、「グローバル補助金活用の実施をサポートし、交流事業を推奨して、その事業の実現、成功に導く」とあります。人吉RCも、どんな事業が出来るか、計画検

討することが必要だと思います。

2. 計画

①韓韓国慶山RCとの交流の検討

②台北稻江RCとの交流の検討

③渡辺年度から続く「輝く瞳に会いに行こう」
の事業に対する検討

以上、現在行われている交流事業をもう一度考え直すことと、新しい事業が出来るかの検討をする年にしたい。

④ 国際奉仕セミナー、シンポジウムへの参加

3. 予算(50,000)

委員会費10,000

国際奉仕セミナー20,000

国際奉仕シンポジウム20,000

【米山記念奨学委員会】

委員長) 浦田繁喜 副) 浅野 強
委員) 片岡啓一 高山征治 大賀睦朗

1. 方針

公益法人ロータリー米山記念奨学会とは、日本のロータリーの創始者と呼ばれる米山梅吉氏の功績を記念して始められ、日本のロータリーが共同で運営する奨学財団です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と母国を結ぶ「懸け橋」となって、ロータリーがめざす世界平和と国際親善に貢献できるように、育成・支援することを基本としています。以上のようなことで、米山記念奨学会への理解を深めていただき、米山への寄付の拡大に努める。会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

2. 計画

①米山月間に、米山奨学生の招待事業の実施

②普通寄付 会員一人当たり年間6,000円とし、
会員負担4,000円 (不足分2,000円は100万ドル
食事より支出) とする。

③特別寄付 (個人・法人)

・特別寄付は、税制上の優遇措置があり、会員への周知徹底に努め、寄付増進をはかる。

・特別寄付への個人別累計額を年度中にお知らせし、米山功労者の増加を促す。

④普通寄付・特別寄付を合わせて、1人平均
約15,000円を目標とする。

3. 予算 (25,000)

委員会費5000

米山学友招待事業20000

【ロータリー財団委員会】

委員長) 中川貴夫 副) 小林清市
委員) 伊久美寛志 中島博之 山賀勝彦

1. 方針

①補助金プロジェクトの参加と寄付を通じて財団を支援する計画を立案し実施する。

②ポリオ撲滅の完遂

地区のロータリー財団部門と連携し、ポリオ撲滅達成を一人一人に理解してもらう。

2. 計画

- ①ロータリー財団の組織、仕組みを会員に理解していただく。
- ②ロータリー財団、年次寄付一人当たり150ドル達成
新会員:入会時20ドル、会員:年40ドル
- ③地区補助金プロジェクト
チャレンジカップ10月13日(土)への参加
- ④ポリオ撲滅への募金活動の実施と寄付の促進
ポリオプラス寄付:一人当たり30ドル目標
- ⑤11月ロータリー財団月間において卓話を行なう
- ⑥PHFの1名以上の達成

3. 予算 (30,000)

財団卓話招待事業20000

委員会費10000

【人吉RC奨学基金委員会】

委員長) 鳥井正徳 副) 堤 修

委員) 片岡啓一 岩下幸司 馬氷慎哉

1. 方針

ロータリーの奉仕の精神に基づき、地域社会の教育振興のため設立された人吉RC 奨学基金委員会規則に基づき、奨学金の給付に伴う管理運営を適切に行う。

2. 計画

年間を通して奨学生の募集、高校や奨学生との関係、理事会への提出、例会への報告、奨学金の給付などを計画に基づき実行する。

8月 奨学生の例会での卓話

11月 来年度奨学生候補者推薦書の提出依頼

12月 奨学生作文提出依頼 例会への報告

1月 新奨学生候補者推薦書の受領

2月 理事会で新年度奨学生の決定および例会への報告

3月 高校へ奨学生決定通知書、振込み口座申請書送付

4月 新年度 奨学金給付式

※人吉RC奨学基金制度規則第10条により、奨学生人数と支給額の見直し

(11月の理事会に諮り決定)

3. 予算 (54,500)

総学生認定楯 (8~9) 49,500

委員会費5,000

【キッチンカー管理運営委員会】

委員長) 本田 節 副) 中川貴夫

委員) 葉山稔洋

1. 方針

熊本大分地震発生後の第2720地区復興支援プロジェクトによる“命のロータリーキッチンカー”を活用し、被災者への支援と交流を行な

い、一日も早い復旧、復興に寄与することにより、社会奉仕と公共イメージ向上に努める。

2. 計画

- ①毎月1回、受け入れ仮設住宅に“命のロータリーキッチンカー”を走らせ、被災者との「食」の交流を通して、心身の癒しに少しでも寄与する。
- ②今年度より、“命のロータリーキッチンカー”の出動が地域社会に奉仕出来て、広く公共イメージ向上につながると委員会で判断された場合、活用していく。
- ③これまでのように、地域のボランティアグループとも連携して、ネットワークを活かした地域貢献に努めたい。

3. 予算

地区の復興支援金を活用

